



## オンシジウム切り花栽培 における1年間の施肥量

オンシジウム切り花栽培での施肥は、液肥のみによる方法、置肥と液肥を併用する方法があり、その施肥量も生産者によって様々である。そこで、効果的な施肥を行えるように置肥の施肥量と液肥の濃度をいろいろ組合せて試験を行い、株の生育や開花の状況からみた4号開花鉢における適切な年間窒素施肥量を検討した。

### 検討結果

- 1 株の生育は、年間窒素施肥量の多い肥培管理方法で優れる傾向を示した（図1）が、開花時期では年間窒素施肥量が少ないほうが早かった（図2）。最も施肥量の少ない0g-50ppmの試験区では1鉢当たり開花本数は多かったものの品質面では劣り、年間窒素施肥量が増えると品質は向上した（表1）。
- 2 これらのことから、生育開花の両面からみた適切な年間窒素施肥量は0.8gと考えられた。

### 留意事項

本方法による施肥管理は、水苔植え素焼き鉢栽培を対象としたもので、3号鉢から施肥を開始し、液肥の施用は10日に1回、3号鉢での置肥施肥量は4号開花鉢の半量を施す。

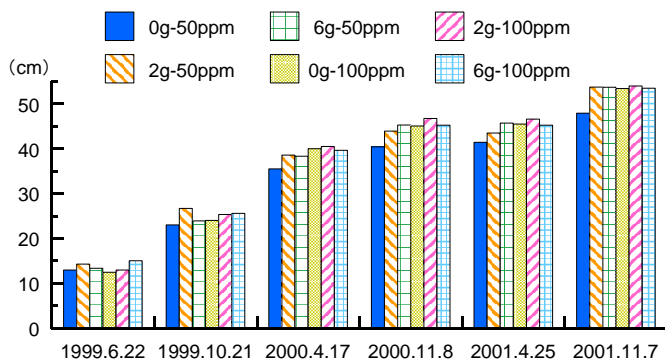


図1 肥培管理方法と草丈

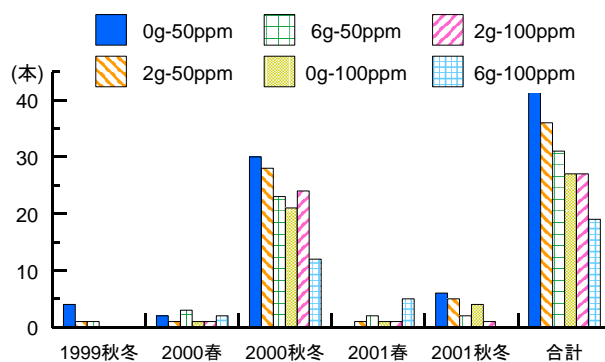


図2 肥培管理方法と開花本数(20鉢当たり)

表1 肥培管理方法と開花本数および切り花品質

油かす 置肥量	液肥の 窒素濃度	年間窒素 施肥量 (g)	1鉢当たり 開花本数(本)	秀品率 (%)	花茎長 (cm)	分枝数 (本)	小花数 (個)	花茎径 (cm)	切り花重 (g)
0g-	50ppm	0.4	2.11	68	68	5.9	52	0.37	19
2g-	50ppm	0.6	1.80	78	74	6.5	60	0.39	23
6g-	50ppm	1.0	1.56	93	77	8.3	86	0.45	29
0g-	100ppm	0.8	1.33	100	88	7.9	87	0.48	33
2g-	100ppm	1.0	1.37	96	78	7.3	75	0.43	28
6g-	100ppm	1.4	0.95	88	72	8.2	87	0.45	31

注1) 置肥は市販の醗酵油かす置肥(N4.7%)を春と秋に施用、液肥は10日に1回1鉢当たり225ml施用したものと年間窒素施肥量を算出した。

注2) 1鉢当たり開花本数は調査期間中(1999~2001年11月末)の合計から換算、秀品率は花茎長60cm以上のものを対象とした。



### 問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 花き園芸担当  
 TEL (088) 674-1660 FAX (088) 674-3114  
<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>